

2025 年 6 月 27 日

株式会社 A C S L

A C S L 製国産ドローン「PF4」、モンゴルでの郵便物配送試験に採用

- A C S L 製国産ドローン「PF4」がモンゴルのウランバートル市にて実施された郵便物のドローン配送試験運航に使用された
- PF4 は物流を中心とした新型マルチユースドローンで、最大 5kg の荷物を 35km 輸送可能
- A C S L は、物流分野におけるドローンの社会実装を通じた「持続可能な物流」の実現への貢献を目指す

株式会社 A C S L（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、A C S L）の国産ドローン「PF4」が、2025 年 6 月 16 日から 18 日にかけてモンゴルのウランバートル市で実施された郵便物のドローン配送試験運航（以下、本試験）に使用されましたので、お知らせいたします。

■PF4 について

PF4 は、物流を中心に様々な用途での運用を可能にする、革新的な産業用マルチコプターです。5kg のペイロード搭載時に 35km の飛行が可能な長距離飛行性能の他、高い着陸精度及び耐風性能、全天候対応など先進のフライト機能を備えています。

外寸	約 2.3m×2.5m×0.6（プロペラ含む）
重量／ 積載可能重量	最大離陸重量 24.9kg 荷物等の搭載可能重量 5.0kg（3 辺合計 100 サイズ程度）
最大速度	水平：20m/s（72km/h） 上昇：3m/s 下降：2m/s
最大飛行距離	約 35km
運用条件	飛行可能風速：10m/s 最大降雨量：10mm/h

**■試験の概要**

本試験は、株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路圭輔、以下、エアロネクスト）とエアロネクストのモンゴル展開パートナーである Newcom Group（本社：モンゴル国ウランバートル市、CEO：B.Baatarmunkh）、Newcom Group の子会社である Mongolia Smart Drone Delivery LLC（本社：モンゴル国ウランバートル市、CEO：M.Otgonpurev、以下、MSDD）、モンゴル郵便株式会社（本社：モンゴル国ウランバートル市、CEO：G.Telmen、以下 モンゴル郵便）により、2025 年 6 月 16 日から 18 日の 3 日間、ウランバートル市内にて実施されました。本試験では、重量 4.5-4.8kg の郵便物を PF4 に搭載し、モンゴル郵便の支店間（片道 3.58km）を約 7 分間かけて飛行し配送を行いました。日本でいうところの「レベル 4（有人地帯における補助者なし目視外飛行）」に該当する第三者上空における自動航行による飛行です。PF4 の、物流用途に適したペイロードと搭載機構、着陸精度や耐風性能等の高い飛行性能が、本試験の運航を実現しました。



郵便物が入った専用箱を
PF4 にセットするスタッフ



郵便物を載せウランバートル市内を飛行する PF4



郵便物を載せた専用箱を切り離し置き配する PF4

なお、本試験を実施した MSDD は、2024 年 8 月から、ウランバートル市内の国立輸血センターから 3 つの病院（日本モンゴル病院、アムガラン病院、国立母子保健センター）への血液のドローン配送の実運用を行っており、当該運用においても A C S L 製国産ドローンが使用されています。血液のドローン配送は、モンゴル国内の医療機関向けに血液および血液製剤の配送を 2024 年には 50 回以上、2025 年には計 90 回実施されています。

A C S L は、物流分野におけるドローンの社会実装を通じた「持続可能な物流」の実現に向けて、PF4 をはじめとした機体開発や運用支援等の取り組みを進めてまいります。

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 A C S L 広報担当（Tel：03-6456-0931 Email：pr@acsl.co.jp）

以 上